

宮代町まち・ひと・しごと創生総合戦略

(H27～H31)

平成30年度進捗状況 H30.4.1～H31.3.31

【基本目標1】 地域資源を活かし雇用を生み出す

1. 儲かる農業で雇用を拡大～農業の再生と高度化～..... p1
2. 雇用支援、起業支援..... p2
3. 産業の活性化に向けた環境整備..... p4

【基本目標2】 町の魅力を高め、新しい人の流れをつくる

1. 宮代ファンを増やす～宮代型観光の推進～..... p4
2. 町の魅力を生かした定住策の推進..... p6

【基本目標3】 結婚を希望する若者を応援し、安心して出産・子育てできる環境をつくる

1. 出産・子育ての負担軽減、子育て環境の充実..... p9
2. 晩婚化の流れを変える婚活支援・啓発事業の推進..... p10
3. ワーク・ライフ・バランスの実現..... p11

【基本目標4】 顔が見え、つながりを実感できる安心で安全な地域をつくる

1. 少子高齢化社会に対応した地域づくり..... p12
2. 安心安全な地域づくり..... p13
3. 地域連携の強化..... p14

【基本目標 1】 地域資源を活かし雇用を生み出す

1. 儲かる農業で雇用を拡大～農業の再生と高度化～

(1) 後継者の育成と生産基盤の強化

高齢化や後継者不足による耕作放棄地の増加を防ぎ、町の農村環境の維持を図るため、新規就農者を確保育成します。また、担い手の安定的な経営の確立を図るため、経営力強化に向けた支援策を実施します。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
明日の農業担い手支援事業(産業観光課) 宮代町農業担い手塾で新規就農希望者を研修生として受け入れ、新規就農里親制度等による支援を実施します。また、農業機械や栽培施設等の農業設備等の投資に対し補助金の交付を行い、農業経営規模の拡大や高付加価値型農業への生産体制の構築を、積極的に行う担い手経営体を育成します。	新規就農者の育成 2019 年までに新規 5 人確保 ----- 5 人確保 (累計) ※前年度実績「4 人確保」(累計)	<ul style="list-style-type: none"> 宮代町農業担い手塾での実践研修を実施 塾生の募集を通年で実施するとともに、町内の農家子弟を新たに受入対象とした。 新たな塾生 (7 期生) の受入れ (1 人) 新・農業人フェア (30 年 9 月 1 日開催) へ出展 町外から町内へ転入して実践研修に取り組む塾生に対し、実践研修に専念するための生活費支援・家賃補助等を目的とした「宮代町農業担い手塾営農研修奨励金制度 (就農予定時の年齢 45 歳未満の塾生に限る。研修 1 年目のみ。)」を新たに創設。 「農」のあるまちづくり担い手支援対策事業補助金を交付。(申請件数 5 件) <p style="text-align: right;">《資料集 p1》</p>
農業経営基盤強化対策事業(産業観光課) 担い手経営体による農地の利用集積を支援し、農業生産の効率化を図り、あわせて新たな遊休農地の発生の抑制につなげていきます。	農地の集約面積の拡大 98ha (2014 年) ⇒105ha (2019 年) ----- 102 ha (利用権設定等面積) ※前年度実績「98.7ha」	<ul style="list-style-type: none"> 宮代町地域農業再生協議会による遊休農地の再生作業を実施 (再生作業実施 2 箇所 再生農地面積計 3,036 m²)。再生後の農地については担い手農家への橋渡しを実施したほか、宮代町農業担い手塾 7 期生の研修ほ場として活用。 株式会社ナガホリが全面撤退した大字和戸及び国納地内の農地 (約 1.7ha) を「農地中間管理事業」を活用し、丸源アグリ(株)へ貸付けを行い、ネギの生産を開始。 農地流動化奨励補助金を交付 (新規申請件数 3 件)
宮代町農業生産基盤整備推進事業(産業観光課) 担い手農家自らが実施する水田区画拡大事業などの小規模な営農環境の改善のための取り組みを支援します。	水田区画拡大事業 2019 年までに新規 5 か所 ----- 30 か所 (累計) ※前年度実績「20 か所」(累計)	<ul style="list-style-type: none"> 農家組合長会議、生産者組合会議、及び農業委員会等の会議で制度を周知。 小規模農地基盤整備事業補助金を交付 (申請件数 10 件※水田区画拡大事業実施分)

(2) 農業の6次産業化の推進(生産・加工・販売の一体化推進)

農産物の生産・加工・販売の一体(垂直統合)化を進め、農業生産関連所得を増やし農業への若者参入や定住促進を目指します。また、商業との連携を進め地域経済の活性化を図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
宮代町農業の6次産業化推進事業(産業観光課) 6次産業化推進事業補助金制度による金銭的な支援や、商品パッケージデザインの制作支援などにより、農家などが行う6次産業化事業を支援します。また、宮代町産「紫いも」をPRするため、宮代高校料理研究部の生徒がデザインしたキャラクター「パルパルクン」シールを利用した販売促進の支援なども行います。さらに、町の伝統食の掘り起しを行い、農商連携による農業の6次産業化を推進します。	6次産業化製品の開発 2019年までに10品目 10件(累計) (紫いものポタージュ、紫じゃがいものヴィシソワーズ、いちじくサンド、紫いもごころ、紫にんじんジュース、黒豆玄米茶、ひめあんびん、至福もち、紫いもの小麦まんじゅう、紫白玉クリーム) ※前年度実績「5件」(累計)	<ul style="list-style-type: none"> 農家組合長会議において補助金制度を周知。 11月25日(日)、新しい村で宮代町産農産物を使ったスープやお菓子を販売する農商連携イベント「世界のすうぷ屋さん」を実施 宮代町の郷土の味掘り起し調査の結果と紫野菜の料理を取りまとめたレシピ本「宮代ふるさとレシピ10品」を作成。 6次化推進事業補助金において、加工設備1件に補助 農業者、商業者、消費者、食の専門家等で構成する「食と農の研究会」を発足。町の6次化を推進するための足掛かりとなる機会を設定。 宮代町産農産物を使用した町内飲食店を「地産地消の店」として認定する制度を創設。 <p style="text-align: right;">《資料集 p2》</p>

2. 雇用支援、起業支援

(1) 雇用・就業機会の創設

町だけでなく県や、近隣市町、近隣商工会、民間団体などが実施する就職面接会や就職セミナー、起業セミナーなどの情報を収集し、町ホームページやSNSなどを活用し、タイムリーに発信します。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
労働事業(産業観光課) スキルアップセミナー、起業セミナーなどの情報、求人や合同面接会などの情報を紙媒体やインターネットを活用し提供します。	労働情報を掲載するウェブサイト「宮代で働こっ」のアクセス数 5,000件(年間) 28,033件(年間) ※前年度実績「27,624件」(年間)	<ul style="list-style-type: none"> 宮代町で「働く場」や「働く人」に焦点をあてたウェブサイト「宮代で働こっ」を構築。町内の求人情報や、町内で働く人の特集を掲載。 ハローワーク求人情報を庁内掲示板で発信。 町商工会と連携し創業セミナー及びフォローアップ講座を開催。 <p style="text-align: right;">《資料集 p4》</p>

(2) 起業へ向けたチャレンジ環境の整備

進修館周辺を会場とするマルシェ（市）を開催し、起業創業の挑戦の場を提供します。また、地元商店が取り組む商品開発や販路拡大の活動を支援し、地域経済の活性化を図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
まちなか起業創業支援事業(産業観光課) 宮代マルシェを定期開催し町内外から起業を志す人材を呼び込みます。あわせて、マルシェの独立したウェブサイトを構築し、出店者の募集とマルシェ開催の告知を行います。	起業創業支援事業による町内での起業 2019年までに10件	<ul style="list-style-type: none"> ・宮代町で「働く場」や「働く人」に焦点をあてたウェブサイト「宮代で働こっ」を構築し、町内の求人情報などを発信。 ・街のにぎわい創出、町内産業の活性化、起業支援、交流人口増加などを目的として、トウブコフェスティバル、里山マルシェを開催。 《資料集 p5》
	5件（累計） ※前年度実績「2件」（累計）	
メイドイン宮代 PR 事業(産業観光課) 宮代町の特産品づくりについて、専門家による技術支援や開発助成金の交付を行います。また、認定ステッカーの配布や町外で行われる特産品イベントでの商品 PR などによる支援を行います。	メイドイン宮代推奨品の認定 38品目（年間）	<ul style="list-style-type: none"> ・メイドインみやしろ推奨品の募集と特選審査会の開催。 ・認定ステッカーの配布。 ・町の特産品ピーアールとさらなる商品開発を目指し、メイドイン宮代認証制度の見直しを実施。 ・市民モニター審査会の開催。 ・スタンプラリーの実施。 《資料集 p8》
	41品目（年間）※うち新規2件 ※前年度実績「42品目」（年間）※うち新規5件	

(3) 空き店舗を活用した商店、事務所の誘致

現行の町融資制度を見直し、空き店舗対策や起業支援を主とした新制度について検討し運用を行います。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
まちなか起業創業支援事業(産業観光課) チャレンジの場を提供するマルシェを進修館周辺で開催し、東武動物公園駅西口周辺への出店を促します。あわせて、町内の空き店舗への出店や地産地消を実践する飲食店等の出店に対する助成制度を検討し実施します。	新たな助成制度利用件数 2件（年間）	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗改修費補助金制度について、創業セミナー等で紹介。 ・店舗や住宅のリフォーム工事について、補助制度を構築。 《資料集 p10》
	1件（年間） ※前年度実績「0件」（年間）	

3. 産業の活性化に向けた環境整備

(1) 中心市街地における環境整備

東武動物公園駅西口・東口など、中心市街地の整備を推進し、アクセス道路等の企業活動の環境を整えます。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
東武動物公園駅西口周辺整備事業 (まちづくり建設課) 中心市街地の交通利便性・魅力向上を図るため、町施行の街路事業による都市計画道路中央通り線等の整備を行います。	東武動物公園駅西口通り線、中央通り線の整備率 62% (2014年) ⇒100% (2018年) 75% ※前年度実績「73%」	<ul style="list-style-type: none"> 中央通り線の用地交渉を実施。(継続中) 中央通り線の一部整備工事を実施。(継続中)
東武動物公園駅東口周辺整備事業 (まちづくり建設課) 東武動物公園駅東口の商店街の活性化による中心市街地の魅力向上を図るため、駅前広場の整備や東武動物公園駅東口通り線の整備を行います。※2022年度までに用地確保、2023年度以降に整備工事着手予定	東武動物公園駅東口駅前広場、東口通り線の整備率 0% (2014年) ⇒32% (2019年) 7% ※前年度実績「6%」	<ul style="list-style-type: none"> 合意形成のための杉戸町と合同協議会を実施。(平成 31 年 2 月 7 日) 個別意向調査を実施。(継続中) 駅前広場の用地交渉を実施。(継続中)

【基本目標 2】 町の魅力を高め、新しい人の流れをつくる

1. 宮代ファンを増やす～宮代型観光の推進～

(1) 町の特徴を活かした観光事業の推進

市民団体や NPO 法人などとともに、新しい村、山崎山、進修館、笠原小学校、東武動物公園など町のさまざまな地域資源を活かした観光事業を推進します。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
宮代型観光推進事業(産業観光課) 新しい村を中心として稲作、野菜づくり等の農業体験や産直ウォークなど「農」に親しむ体験型の観光プログラムを提供します。	観光事業への町外参加者数 1 万人 (年間) 17,821 人 (年間) ※前年度実績「16,787 人」(年間)	・桜市/春の野草観察会・野草の天ぷらを味わう/山崎山ツリーライティング/ホテルの夕べ観賞会/宮代こども昆虫博士検定/スパ・ナイトハク(夜の生き物観察会)/秋の野草観察会/山崎山トラスト祭(山崎山ツリーライティング同時開催)/山崎山クラフト体験教室/里山の冬の自然観察会&壁掛け作り/冬の生きものを観察しよう/春の自然観察会&椎茸の駒打ち体験/田植え、稲刈、サツマイモ掘り、ジャガイモ掘り、ブルーベリー収穫体験、ラベンダー摘み取り、/トウゴロコフェスティバル/里山マルシェ/つながりづくりイベント和e輪eなど <<資料集 p12>>
宮代町の魅力推進事業(町民生活課) 宮代町の美しい風景や緑豊かな環境を活用し、自然観察会、森遊び(ツリークライミング、クラフト作り等)、野草のてんぷら試食会、ホテルの夕べ観賞会などのイベントを実施します。		

(2) 観光推進体制の強化

観光事業を担う市民団体やNPO法人、東武動物公園などの観光情報を集約し、厚みと多様性を持たせた観光情報を発信します。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
宮代型観光推進事業(産業観光課) 新しい村、東武動物公園、市民ガイドクラブ、商工会、山崎山エコクラブ、和e輪e実行委員会、町各課などの観光情報を一元化し、観光情報誌により町の内外に発信します。	みんなで作る観光情報誌の発行町外への配布 5万冊(年間) 5万冊(年間) ※前年度実績「5万冊」(年間)	・観光プログラム実施主体から情報を集約した観光カレンダーを作成、観光情報紙「宮代い〜ね」に掲載し、年2回発行。(町外ポスティング先：春日部市、久喜市、白岡市、杉戸町) ≪資料集 p13≫
市民の活動をつなぐインターネット放送局(総務課) 町の観光イベントの告知動画や実施の様子、そのほか町の魅力を伝える動画を市民特派員が制作し、動画共有サイト「ユーチューブ」を活用し配信します。	町の魅力を伝える動画の配信 50本以上(年間) 市民の活動をつなぐインターネット放送局の市民特派員の充実 2019年までに10人以上 町の魅力を伝える動画の配信 103本(年間) ※前年度実績「105本」(年間) 市民の活動をつなぐインターネット放送局の市民特派員の充実 11人 ※前年度実績「6人」	・動画作成講座や1UP講座(撮影の心構え)の開催。 ※特派員2人増員 ・進修館や新しい村などで行われる大きなイベント情報から、地域のまつりや町内団体の活動紹介など、地域密着型の情報まで町の魅力を動画にて配信。 ・町民文化祭、進修館事業の告知動画を配信。 ・役場ロビーでモニターによる動画配信を開始。 ≪資料集 p14≫

2. 町の魅力を生かした定住策の推進

(1) 住宅施策の推進

道仏土地地区画整理周辺整備事業を推進し、若年層や子育て世代をターゲットとして、都心への通勤の利便さと自然環境の豊かさからなる町の住みやすさをPRします。また、空き家の有効活用を推進します。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
みやしろ定住促進作戦(企画財政課) 定住人口の増加と空き家、空き部屋の有効活用、及び宮代町の対外的PR効果を高めるため、宮代町定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」を運営します。あわせて、転入希望者ツアー、都内通勤者をターゲットとした電車広告の実施等を行います。	定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」アクセス数 20万アクセス(年間) 16.7万アクセス(年間) ※前年度実績「21.5万アクセス」(年間)	<ul style="list-style-type: none"> 定住促進サイト「みやしろで暮らそっ」をスマートフォンでの閲覧に適した仕様にし、町の雰囲気や移住後の暮らしがイメージできるようなサイトに再編。 「みやしろで暮らそっ」の特集記事「暮らシロ(2件)」「宮代暮らし(2件)」、その他記事(10件)を掲載。※「暮らシロ」は、宮代への移住者のインタビューを深掘りした記事。「宮代暮らし」は、宮代町での住み方を提案する記事。「その他記事」は、暮らしの中の風景や町の魅力を伝える出来事を紹介する記事。 ふるさと納税者及び町外からのイベント参加者へのウェブサイトPRチラシの配布。(約8,500枚) 他課所管の「働く」、「育てる」をテーマとしたウェブサイト「宮代で働こっ」、「みやしろで育てよっ」と連携した情報発信。(それぞれの特集記事を「みやしろで暮らそっ」で共有し情報発信) 《資料集 p15》
道仏土地地区画整理周辺整備事業(まちづくり建設課) 各都市計画道路を整備し、さらに、住宅地としての利便性向上と機能を高めることを目的に、ライフラインの整備促進を図ります。	道仏土地地区画整理地内への転入者数 70人(年間) 道仏土地地区画整理地内への転入者数 125人(年間) 地区内人口2,147人 ※前年度実績「201人」(年間) 地区内人口2,022人	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路春日部久喜線の用地買収を実施。 1件 74.23㎡取得 都市計画道路春日部久喜線の軟弱地盤対策工事を実施。 工事延長 123m 道仏土地地区画整理事業の清算業務を行ないました。
公園管理事業(まちづくり建設課) 道仏土地地区画整理地内のさらなる定住促進を図るため、公園整備を実施します。	道仏土地地区画整理地内の公園整備 2か所(2014年)⇒5か所(2019年) 目標達成済	

(2) 地場産品を活用した町のイメージアップ

地場産品を活用した商品開発や農業の6次産業化を推進し、宮代町全体としてのイメージアップを図り、定住人口の増加へとつなげます。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
ふるさと納税制度「宮代のまちづくりをみんなで応援する寄付制度」(企画財政課) ふるさと納税の寄付者へのお礼にメイドイン宮代推奨品や6次産業化製品などの町の特産品を贈ることで、町のイメージアップを図ります。	ふるさと納税による町外からの寄付件数 7,000件(年間)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税ポータルサイトやカタログなどのメディアを活用しPRを実施。 総務大臣通知を受け返礼品の返礼割合、寄附金額等の見直しを実施。 《資料集 p16》
	5,562件(年間) ※前年度実績「6,970件」(年間)	
メイドイン宮代PR事業(産業観光課) 宮代町の特産品づくりについて、専門家による技術支援や開発助成金の交付を行います。また、認定ステッカーの配布や町外で行われる特産品イベントでの商品PRなどによる支援を行います。	メイドイン宮代推奨品の認定 38品目(年間)	<ul style="list-style-type: none"> メイドインみやしろ推奨品の募集と特選審査会の開催。 認定ステッカーの配布。 町の特産品ピーアールとさらなる商品開発を目指し、メイドイン宮代認証制度の見直しを実施。 市民モニター審査会の開催。 スタンプラリーの実施。
	41品目(年間) ※うち新規2件 ※前年度実績「42品目」(年間) ※うち新規5件	
宮代町農業の6次産業化推進事業(産業観光課) 6次産業化推進事業補助金制度による金銭的な支援や、商品パッケージデザインの制作支援などにより、農家などが行う6次産業化製品づくりを支援します。さらに、町の伝統食の掘り起しを行い、農商連携による農業の6次産業化を推進します。	6次産業化製品の開発 2019年までに10品目	<ul style="list-style-type: none"> 農家組合長会議において補助金制度を周知。 11月25日(日)、新しい村で宮代町産農産物を使ったスープやお菓子を販売する農商連携イベント「世界のすうぷ屋さん」を実施 宮代町の郷土の味掘り起し調査の結果と紫野菜の料理を取りまとめたレシピ本「宮代ふるさとレシピ10品」を作成。 6次化推進事業補助金において、加工設備1件に補助 農業者、商業者、消費者、食の専門家等で構成する「食と農の研究会」を発足。町の6次化を推進するための足掛かりとなる機会を設定。 宮代町産農産物を使用した町内飲食店を「地産地消の店」として認定する制度を創設。 《資料集 p17》
	10件(累計) (紫いものポタージュ、紫じゃがいものヴィシソワーズ、いちじくサンド、紫いもごころ、紫にんじんジュース、黒豆玄米茶、ひめあんびん、至福もち、紫いもの小麦まんじゅう、紫白玉クリーム) ※前年度実績「5件」(累計)	

(3)郷土愛の醸成、教育環境の充実

郷土かるた大会事業など郷土愛を育む事業を展開し、町への愛着を醸成します。また、小中一貫教育や町民みんなが先生制度など特色ある教育を推進し、教育環境を充実させ選ばれる町を目指します。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
<p>青少年健全育成事業(教育推進課) かるた大会を通じて子どもたちの郷土愛の醸成を図るため、新たな郷土かるたを町内の児童生徒、保護者、関連団体とともに制作し、かるた事業の発展、活性化を目指します。</p>	<p>新みやしろ郷土かるた大会の参加者数 200 人 (年間)</p> <hr/> <p>新みやしろ郷土かるた大会開催 87 チーム・261 人の参加 (年間) ※前年度実績 「80 チーム・240 人」 (年間)</p>	<p>【新みやしろ郷土かるた大会の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成 30 年 7 月 1 日 (日) ・会場 進修館大ホール ・参加者数 87 チーム・261 人 低学年の部 (小学 1・2 年生) 26 チーム・78 人 中学年の部 (小学 3・4 年生) 32 チーム・96 人 高学年の部 (小学 5・6 年生) 29 チーム・87 人 <p style="text-align: right;">《資料集 p19》</p>
<p>小中学校学力向上推進事業(教育推進課) 小中学校において少人数指導によるきめ細かな指導を行うため、非常勤講師を配置します。</p>	<p>各種学力テスト すべての学年で県平均超え</p> <hr/> <p>《全国学力学習状況調査》 8 項目中 5 項目で県平均超 ※前年度実績「8 項目中 3 項目」</p> <hr/> <p>《県学習状況調査》 14 項目中 4 項目で県平均超 ※前年度実績「14 項目中 5 項目」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上等検討委員会の開催。(年 3 回) ・町非常勤講師、初任者、臨時的任用教員、採用後 1～3 年の教員を対象に年次研修の実施。 ・各学校への訪問指導。(年 10 回)
<p>英語指導助手活用推進事業(教育推進課) 国際化に対応するための、英語教育をより一層充実させ、コミュニケーション能力の向上を図る指導の充実に向け、小学校専属の ALT を配置します。</p>	<p>修学旅行において外国人と英語でコミュニケーションをとる児童の割合 50%以上</p> <hr/> <p>約 10% ※前年度実績「約 10%」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員向けの外国語教育研修会を実施。(夏季休業中) ・小学校英語科指導者研修会を実施。(年 13 回) ・中学校区ごとに小中学生が一緒に行う英語活動発表会を実施。(ALT も参加)

【基本目標 3】 結婚を希望する若者を応援し、安心して出産・子育てできる環境をつくる

1. 出産・子育ての負担軽減、子育て環境の充実

(1) 各種助成、相談事業等の実施

子育て新施設「宮代町子育てひろば」を拠点として、出産・子育ての負担を軽減するため各種助成事業、相談事業、遊びや学習の場を提供する事業を実施します。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
赤ちゃん訪問事業(健康介護課) 4 か月になるまでの赤ちゃんのいる家庭を訪問し、必要な支援を行います。	赤ちゃんのいる家庭への訪問 100% (毎年) 97.8% ※前年度実績「98.4%」	・保健師が家庭訪問し母親の不安や悩みを聞き子育てに関する情報提供を行うとともに、親子の心身の状況や家族からの支援状況、養育環境等を把握し、必要な支援を実施。訪問ができなかった家庭は面接で親子に会い同様の支援を実施。(対象 230 件、訪問 225 件、面接 5 件)
みんなで子育て！こども未来事業(福祉課) 子育てひろばを中心に、子育てに関する不安や負担感を解消するための相談や、親子の交流事業などによる子育て支援を行います。	子育てひろば利用者数 延べ 2 万 5,000 人 (年間) 延べ 31,780 人利用 (年間) ※前年度実績「33,903 人」(年間)	・こどもまつり/力士との交流会/運動会/ハロウィンパーティー/三世代交流事業/パパ講座/祖父母講座/子育て講座/ママ向けヨガ/誕生会/1歳～3歳児教室/工作教室/親子教室/絵本の日/はじめてのいっぽ/リズム遊び/ベビーマッサージ/各種コンサート/乳幼児健全すくすく相談/子ども家庭相談 <<資料集 p21>>

(2) 待機児童ゼロの町

就学前の子どもの保育を必要とする保護者が、安心して子どもを預けることができるように、保育施設の整備や保育士の人材確保など、多面的な取り組みを行います。あわせて、学童保育所の充実を図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
保育所運営事業(福祉課) 保護者の就労等により、保育が困難な家庭の児童の健全育成のため、保育所を運営します。あわせて事業の充実化を図ります。	待機児童数(保育所) 0 人 ※4月1日現在 待機児童数(保育所) 9 人 ※平成 30 年 4 月 1 日 1 人 ※平成 31 年 4 月 1 日	・公立保育園において、2歳児・3歳児クラスを増設し受入れ枠を大幅に拡大。 ・民間保育所に受入れの弾力化を要請。 ・小規模保育施設の認可、指導。
学童保育所運営事業(福祉課) 保護者の就労等により、保育が困難な家庭の児童の健全育成のため、学童保育所を運営します。あわせて事業の充実化を図ります。	待機児童数(学童保育所) 0 人 ※4月1日現在 待機児童数(学童保育所) 0 人 ※平成 30 年 4 月 1 日 0 人 ※平成 31 年 4 月 1 日	・入所希望者の増加に伴う対策として、非常勤職員・臨時職員を増員して対応。 ・ふじ児童クラブ及びびいちょうの木児童クラブにおいて、保育室を増設し対応。 ・短期入所においても申請者全員受入れ。

(3)子育て情報の一元化と子育て世代のネットワーク化

町内の子育て支援センターの情報などを一元化し、子育て新施設「宮代町子育てひろば」において発信します。また、イベントやSNSなどを活用することで、子育て世代や地域活動のネットワーク化を促し、地域で子どもを育てる環境をつくります。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
みんなで子育て！こども未来事業(福祉課) 子育てひろばを中心に、利用者が企画に参加するイベントや共働き家族向けイベント、子育てを応援する店舗とのイベントなどさまざまなイベントを開催します。また、町内の子育て支援センターの情報を一元化し、子育て情報ウェブサイト「みやしろで育てよう」及び専用フェイスブックなどを活用して発信します。	子育てひろば専用フェイスブックのフォロワー数 2019年までに500件 子育てひろば利用者数 延べ2万5,000人(年間) <hr/> 子育てひろば専用フェイスブックのフォロワー数 平成31年3月31日現在フォロワー数219件 ※前年度末フォロワー数「182件」 子育てひろば利用者数 延べ31,780人利用(年間) ※前年度実績「33,903人」(年間)	<ul style="list-style-type: none"> 町広報、ホームページに各種事業の予定を掲載し、各支援センター、保健センター、図書館に、月予定表を配布し周知。 各種事業の実施後、ホームページに実施内容を掲載し情報を発信。 子育てひろば各種事業の実施。(こどもまつり/力士との交流会/運動会/ハロウィンパーティー/三世代交流事業/パパ講座/祖父母講座/子育て講座/各種コンサート/親子教室/こども家庭相談/子育て相談) 子育て応援ウェブサイト「みやしろで育てよう」を運用し子育てに関する情報、イベント情報などを発信。 <p style="text-align: right;">≪資料集 p23≫</p>

2. 晩婚化の流れを変える婚活支援・啓発事業の推進

(1)若い世代の婚活事業

未婚化・晩婚化・晩産化の流れを変えるため、若い世代の婚活イベントの開催、男女の出会いの場を提供する事業を展開します。

事業名	数値目標／達成状況	平成30年度に実施したこと
新しい村管理運営事業(産業観光課) 新しい村を主舞台とし、『田んぼで婚活』、『畑で婚活』などの「農」に親しむ体験型の婚活イベントを開催します。 婚活応援事業(産業観光課) 町内で行われる婚活事業(民間事業者主催を含む)で成立したカップルへ記念品を贈呈します。さらに、そのカップルが結婚して町内に居住した場合、結婚祝い金を贈呈し祝福します。	カップル成立数 30組(年間) <hr/> 26組(年間) ※前年度実績「24組」(年間)	≪婚活イベントの開催≫参加者199人 <ul style="list-style-type: none"> 畑で婚活(ジャガイモ掘り) 畑で婚活(ブルーベリー摘み) 畑で婚活(梨狩り) 畑で婚活(さつまいも掘り) 畑で婚活(コンニャク作り) ZOO婚 畑で婚活(アロマスプレー・ハーブの石けんづくり)

(2)結婚、出産、子育ての楽しさを若い世代に伝える

若い世代に対して、家庭科学習や乳幼児との保育体験を通して、いのちの尊さ、子育ての大切さ、楽しさに関する教育を推進していきます。また、若者が「結婚」や「子育て」に持つマイナスイメージを変えるため、結婚や子育ての楽しさやうれしさを広報媒体を活用して意識啓発を図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
家庭・学校・地域ふれあい事業(教育推進課) 中学生を対象に、家庭・学校・地域が一体となって生徒の豊かな心を育むための社会体験事業（民間店舗、図書館や保育園などの公共施設での職場体験事業）の実施を行います。 中学校管理運営事業(教育推進課) 家庭科の授業において、中学3年生全員に対して保育体験を実施します。	若い世代の子育て体験への参加 200人（年間）	・全中学校で、職場体験活動を実施。 ・全中学校の3年生で保育体験の授業を実施。
	240人（年間） ※前年度実績「224人」（年間）	
広聴・広報事業(総務課) 子育て情報コーナー「わくわく子育てじゃんけんポン」を広報紙に掲載します。	広報紙ミニ特集記事の制作 4回（年間）	・Q&A方式による子育ての悩みの解決方法の紹介、親子で作れる料理レシピを紹介などの記事を制作。（広報4・9・10・1月号に掲載）
	4回（年間） ※前年度実績「4回」（年間）	

3. ワーク・ライフ・バランスの実現

(1)男女共同参画社会づくりの推進

男女がともに仕事と家庭、子育て、地域活動などを両立できるワーク・ライフ・バランスの実現に向け、男女共同参画の意識づくりや、固定的性別役割分担意識の解消を図るための啓発を進めます。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
男女共同参画社会推進事業(総務課) 男女共同参画社会の推進を図るためのセミナーやパネル展などの事業を実施します。 ママ・パパ教室等の実施(健康介護課) 初産婦と配偶者を対象に年3回のママ・パパ教室を開催します。	関連イベント、講座などへの参加 300人（年間）	・男女共同参画セミナー「We are シンセキ in Miyashiro ～地域の子どもたちができること～」の開催。（1月） ・男女共同参画パネル展開催。（6月、1月） ・ママ・パパ教室の開催。（妊娠出産に関する知識を学んだり、グループワークを取り入れて情報交換や交流を通して妊娠期から出産・育児にむけての必要な支援を実施）4回コースを年3回開催 ※前年度実績「190人」（年間）
	317人（年間） ※前年度実績「190人」（年間）	

《資料集 p24》

【基本目標 4】 顔が見え、つながりを実感できる安心で安全な地域をつくる

1. 少子高齢化社会に対応した地域づくり

(1) 地域で行われる健康づくり活動、交流活動を支援

地域単位で行われる健康づくり教室や地域交流サロン、地域敬老会の開催を支援し、地域力の底上げを図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
介護予防・健康づくり活動支援事業(健康介護課) 地域単位で継続的な介護予防・健康づくり教室を開催するとともに、地域が主体的に行う介護予防・健康づくりに資する活動を支援するための介護予防リーダー養成講座やステップアップ勉強会を開催します。	健康づくり教室の参加者数 延べ 7,000 人 (年間) ----- 延べ 11,621 人 (年間) ※前年度実績「6,399 人」(年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防リーダー養成講座の実施。(参加者 延べ 123 人) ・ステップアップ勉強会の実施。(参加者 延べ 86 人) ・出前講座の実施。(参加者 延べ 762 人) ・地域の自主活動。(参加者 延べ 10,650 人)
地域交流サロン支援事業(健康介護課) 地域住民が地域で気軽に集えるサロンを地域住民が主体的に運営提供することで、高齢者の引きこもりを解消し、そこで多様な活動を展開することで、世代を超えた交流を生み出し、高齢者の元気アップにつなげます。	地域交流サロンの参加者数 延べ 4,500 人 (年間) ----- 延べ 7,815 人 (年間) ※前年度実績「6,765 人」(年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・実施団体へスタートアップ補助として、備品購入費の補助。(8 団体) ・地域交流サロンの様子を町ホームページに掲載し PR。(1 団体、サロン研修旅行) ・社会福祉協議会主催のサロン連絡会へ参加し、サロン実施団体と意見交換。(5 月、11 月) 《資料集 p25》
地域敬老会支援事業(健康介護課) 自治会等が主体となって開催する参加しやすい地域単位での敬老会により、高齢者の地域交流や世代間交流の場とするなど、地域コミュニティの醸成にもつながる地域敬老会の開催を支援します。	地域敬老会への参加者数 延べ 1,300 人 (年間) ----- 延べ 1,894 人 (年間) ※前年度実績「1,779 人」(年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区連絡会にて、補助金制度及び運営方法等の説明を実施(5 月) ・開催地区の敬老会参加対象者へ参加意向確認通知を送付し参加者名簿を作成、提供。(7 月～12 月) ・開催地区に対し、運営費の一部を補助。 ・全地区の区長、自治会長へのアンケート調査を実施。(2 月地区連絡会) 《資料集 p27》

(2) 公共施設の維持管理の最適化

人口減少、少子高齢化が進む中、次代のニーズや行政需要に応じた適正規模の施設へと再編、集約を図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
公共施設再編第 2 期計画(企画財政課) 次代のニーズ、行政需要に応じた適正規模の施設へと再編・集約を図ることで持続可能な行政運営を目指します。	公共施設再編第 2 期計画 公共施設等総合管理計画の策定	
	平成 28 年度策定	

2. 安心安全な地域づくり

(1) 地域の防災力の向上

災害時のインフラの安全性を確保するとともに、地域の防災力の向上として、自主防災組織の設立及び集会所の防災拠点化を支援し、地域と地域の連携を図ります。また、防災行政無線のデジタル化を進め、自主防災組織や関係団体との情報連携を強化します。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
防災コミュニティ促進事業(町民生活課) 自主防災組織活動への助成、防災・防犯マスター講座、防災講演会等、災害に強い地域づくりを推進する組織育成及び支援を行います。また、防災無線のデジタル化を進め、自主防災組織などとの新たな情報連携を図ります。	自主防災組織設置率 98.8% (2014 年) ⇒ 100% (2019 年) 自主防災組織活動実績 76% (2014 年) ⇒ 90% (2019 年) 防災・防犯マスター修了者数 9 人 (2014 年) ⇒ 30 人以上 (2019 年)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・防犯マスター講座の開催。(7 月～12 月、全 6 回) ・ 自主防災組織活動への助成。(資機材 11 団体、拠点整備 5 団体、防災訓練 26 団体、防災研修 3 団体、防災士資格取得 1 団体 2 人) <p style="text-align: right;">《資料集 p28》</p>
	自主防災組織設置率 100% ※前年度実績「100%」 自主防災組織活動実績 86% ※前年度実績「94%」 防災・防犯マスター修了者数 38 人 (累計) ※前年度実績「26 人」(累計)	

3. 地域連携の強化

(1)ICTを活用した情報発信

地域のさまざまな取り組みを地域同士で共有できるように、ツイッターやユーチューブといった ICT を活用してタイムリーかつ詳細な情報を発信します。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
広聴・広報事業(総務課) ツイッターを活用し、広報紙では掲載しきれない地域に身近な情報や話題をタイムリーに発信します。	ツイッターフォロワー数 1,700 件 (2014 年) ⇒3,000 件 (2019 年) ツイッターのツイートへの「いいね」数 200 件 (月)	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場でのイベントを多く発信し子育てのまちを PR ・学校給食のメニューだけでなく調理中の情報や食にまつわる情報を発信し食育を促進。 ・四季折々の風景を発信し、自然豊かな宮代町を PR。 ・みやしろで暮らそっ・働こっ・育てよっのサイト特集をツイートし、各イベントの告知だけでなく、人や歴史・文化等も PR。 ≪資料集 p29≫
	ツイッターフォロワー数 2,692 件 ※前年度実績「2,504 件」 ツイッターのツイートへの「いいね」数 458 件 (月) ※前年度実績「225 件」(月)	
市民の活動をつなぐインターネット放送局(総務課) 地域的话题を市民特派員が取材し、動画共有サイト「ユーチューブ」を活用し配信します。	ユーチューブ視聴回数 20,000 回 (年間) ユーチューブ動画配信 50 本 (年間) 市民の活動をつなぐインターネット放送局の市民特派員の充実 2019 年までに 10 人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・動画作成講座や 1UP 講座(撮影の心構え)の開催。(3 日間) ※特派員 2 人増員 ・進修館や新しい村などで行われる大きなイベント情報から、地域のまつりや町内団体の活動紹介など、地域密着型の情報まで町の魅力を動画にて配信。 ・町民文化祭、進修館事業の告知動画を配信。 ・役場ロビーでモニターによる動画配信を開始。
	ユーチューブ視聴回数 20,876 回 (年間) ※前年度実績「20,257 回」(年間) ユーチューブ動画配信 103 本 (年間) ※前年度実績「105 本」(年間) 市民の活動をつなぐインターネット放送局の市民特派員の充実 11 人 ※前年度実績「6 人」	

(2)活動の連携による地域力の向上

自治会や市民活動団体、NPO 法人、日本工業大学、東武動物公園など、地域を構成するさまざまな団体と連携し、地域の活性化を図ります。

事業名	数値目標／達成状況	平成 30 年度に実施したこと
市民、活動、地域資源の縁結び事業(町民生活課) コミュニティセンター進修館を拠点に市民と市民、活動と活動、地域資源と地域資源を結びつけ、市民活動などのマッチングを推進します。	市民、活動、地域資源の縁結び事業による連携 20 件 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・進修館まつりの開催。(3 月) ・やりたいゾウ登録者へのアンケートの実施。 ・市民、活動、地域資源のマッチング。「(「まちをアルバムにする」写真展、子どもの日イベントなど) <p style="text-align: right;">《資料集 p30》</p>
	19 件 (年間) ※前年度実績「35 件」(年間)	
上手に使おう集会所事業(町民生活課) 集会所を中心に、地区や自治会と市民活動を結びつけるなど、さまざまな連携を推進します。	上手に使おう集会所事業による連携 5 件 (年間)	<ul style="list-style-type: none"> ・集会所や地区・自治会の情報を町ホームページに掲載。(集会所情報 14 件) ・「まちをアルバムにする」写真展の開催。(東条原地区)
	5 件 (年間) ※前年度実績「7 件」(年間)	
大学連携事業(企画財政課) 地域資源を活用した産業振興や観光振興など、さまざまな分野で日本工業大学や共栄大学と連携を図ります。	大学連携事業による連携 20 件 (年間)	庁内各担当が実施する事業で各大学の教員や学生が協力。 <ul style="list-style-type: none"> ・共栄大学との連携 (山崎山トラスト祭/こどもまつり/教育ボランティア など) ・日本工業大学との連携 (まちをアルバムにする/町民まつり/理系シニアになろうはじめてのプログラミング講座/宮代マルシェ里山 Ver3/みやしろ大学/子ども大学みやしろ など) <p style="text-align: right;">《資料集 p31》</p>
	18 件 (年間) ※前年度実績「17 件」(年間)	